

平成29年度 基本評価調査

施策名	北海道独自の歴史・文化の発信と継承	所管部局	環境生活部	作成責任者	環境生活部長 小玉 俊宏	施策コード	03 — 14
		照会先	文化振興課調整グループ 011-204-5208(内24-405)	関係課	文化振興課		

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

【総合計画等の位置づけ】

政策体系	大項目(分野)		中項目(政策の柱)		小項目(政策の方向性)		総合計画の指標	
		3	人・地域	(4)	ふるさとの歴史・文化の発信と継承	A	北海道独自の歴史・文化の発信と次代への継承	北海道博物館の利用者満足度
北海道創生総合戦略	A4212		北海道 強靱化計画		新・北海道 ビジョン	C00111,C00507,C02713,C08101,C08201,C08202,C08203,C08204,C08305,C08404		
特定分野別計画等	北海道文化振興指針、北海道博物館基本計画							

1 目標等の設定

現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> 個性豊かな土偶や漆工芸を生み出した北海道と北東北3県(青森・秋田・岩手)に所在する縄文遺跡群について、早期の世界遺産登録に向けての取組を推進するとともに、道民の理解を深め、さらなる気運の醸成を図る必要がある。 人々の生活意識や価値観の多様化などにより、物質的・経済的な豊かさだけでなく、日常の暮らしの中にゆとりや潤いといった心の豊かさが一層求められるようになり、文化に対する関心や期待の高まりがあることなどから、本道固有の歴史や様々な民俗芸能・生活文化などを継承、発信する取組を推進する必要がある。 				施策目標	<ul style="list-style-type: none"> 「北海道・北東北の縄文遺跡群」の早期の世界遺産登録に向けた取組を推進するとともに、北の縄文道民会議と連携した事業の実施など官民一体となった道民運動を展開する。 多言語で作成した映像や縄文文化を紹介する冊子などにより、情報発信の強化を図る。 北海道博物館を核として地域の博物館などとも連携し、本道の固有の歴史や道内各地の様々な民俗芸能・生活文化などを次世代に継承し、発信する取組を推進する。 			
	政策体系	役割等		政策体系		役割等		施策の予算額	
施策の推進体制 (役割・取組等)	3(4)A	【縄文】 [縄文遺跡群世界遺産登録推進本部]・・・4道県及び14市町 ・推薦書原案の改訂、国への提出 ・国内フォーラム開催、国際的合意形成の促進 [道及び北の縄文道民会議] ・パネル展、セミナー等普及啓発事業 [道] ・普及啓発事業や情報発信の強化 など		3(4)A	【ふるさとの歴史・文化(北海道博物館)】 [道] ・北海道博物館において、資料の収集・保存、展示などを実施 ・北海道の自然・歴史・文化の調査研究、アルバータ州、サハリン州との共同研究の実施 ・魅力あるイベントの開催や教材の充実による教育普及事業の実施 ・ウェブサイトやSNSを利用した北海道博物館の情報発信の強化 ・あらゆる広報媒体を活用した戦略的な広報活動の展開 [市町村] ・道内市町村博物館、関係施設との連携 [博物館関係団体] ・北海道博物館は、北海道の中核博物館として、日本博物館協会、北海道博物館協会、全国歴史民俗系博物館協議会と連携		H27	512,061	
					H28	559,768			
					H29	569,196			

	政策体系	今年度の取組	政策体系	今年度の取組
	今年度の取組	3(4)A	<p>【縄文】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○世界遺産登録に向けた推薦書案作成 ○国際的合意形成事業の実施 ○縄文文化に係るパネル・出土品の展示、普及啓発資料配布 ○縄文文化に係るセミナー・フォーラムの開催 ○縄文文化の持つ特徴やその意義、価値の大きさを、映像資料や冊子等により国内外に広く発信する 	3(4)A

<前年度意見への対応>

前年度付加意見(二次政策評価における付加意見の内容)		付加意見への所管部局の対応 (H29年3月末時点)	

Do & Check 施策評価

1-2 取組の結果

(1) 取組の実績と成果

政策体系	実績と成果等	関連する計画等			更に取組が必要な事項
		北海道創生 総合戦略	北海道強靱 化計画	新・北海道ビ ジョン	
3(4)A	<p>○早期の世界遺産登録を目指し、関係県、市町と推薦書案を作成するとともに、有識者を招いたフォーラムや「北の縄文道民会議」と連携したパネル展やセミナー等の啓発事業を実施するなど情報発信を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フォーラム 3回(H28年度 2回、H29年度 1回※予定) ・パネル展 11回(H28年度 7回、H29年度 4回※予定) ・セミナー 12回(H28年度 7回、H29年度 5回※予定) ・啓発イベント 4回(H28年度 2回、H29年度 2回) <p>○遺跡群の学術的価値の国際的合意形成を図るため、海外から専門家を招聘し、国際会議を東京都で開催。(4道県事業)(H29.1月、H30年1月予定)</p> <p>○北海道の縄文文化の魅力や特徴を紹介する映像(多言語対応)や小冊子(日・英)をホームページで公開(H28)するとともに、フランスで開催された展示会(H28.10月)や国内でのパネル展で放映・配布(H29.2月、H30年2月予定)することで、国内外に広く発信した。</p>	A4212		C08101	
3(4)A	<p>○北海道の自然、歴史、文化に関する貴重な資料の寄贈を受けた(アイヌ民具資料74件、野幌森林公園関連の植物標本625件など。H29年度は、7月までに809件の資料の寄贈を受けた)。</p>				
3(4)A	<p>○道政広報の機能を果たすため、総務部北方領土対策本部運動交流グループとの連携により、北方領土展示コーナーを設置した(H29.2)。</p> <p>○総合展示では、来館者参加型展示の更新(H29.4)、第3テーマ「北海道らしさの秘密」の一部更新(H29.4)、第4テーマ「わたしたちの時代へ」の一部更新(H29.4)を実施した。</p> <p>○収蔵資料を公表するために、定期的に展示を入れ替える「クローズアップ」展示コーナーの更新(H28.12(7ヶ所)、H29.2、H29.6(2ヶ所))を実施した。</p> <p>○特別展「プレイボール 北海道と野球をめぐる物語」(H29.7～)、企画テーマ展「夜の森 ようこそ！動物たちの世界へ」(H29.4～6)を実施した。</p>			C08201	
3(4)A	<p>○「北東アジアのなかの北海道」研究プロジェクトとして、職員2名をカナダ・アルバータ州に派遣し、調査研究を実施した(H28.10～11)。ロシア・サハリン州から研究者2名を招聘し、道内で共同調査を実施した(H28.10)。</p>			C08201	
3(4)A	<p>○利用者ニーズの把握のため、特別展・企画テーマ展期間中に来館者アンケートを実施するとともに、出口調査を実施した(H28.8)。</p>				

3(4)A	○調査研究の成果による講座や収蔵資料を活用した「ハンズオン」等の事業を実施し、H28年度には12,708人、H29年度には7月までに8,754人が参加した。※ハンズオン・普段触れることのできない資料に直接触れられる展示方法など			C08201	
3(4)A	○ICTの活用として、多言語展示解説アプリ「ポケット学芸員」を赤れんがサテライト及び特別展「プレイボール 北海道と野球をめぐる物語」で活用し、海外からの来館者に対するサービスの向上を図った。			C00507,C08201,C08204,C08404	
3(4)A	○博物館広報の一環として、ウェブサイトやSNS等を活用して博物館情報を随時更新するとともに、「赤れんがサテライト」の一部コーナーを更新(H29.8)するなど、多角的な情報を発信して広報の強化を図った。			C00111,C00507,C02713,C08201,C08202,C08203,C08204,C08404	
3(4)A	○道内博物館の中核施設として、北海道博物館赤れんがサテライトにおいて、地域の博物館の情報発信を行うとともに、H28.1.30の「知床の日」を記念して、知床地域の博物館の資料展示を実施した。 ○道内のジオパークが所在する地域の博物館等と連携し、北海道博物館において「ジオパークまつり」(H29.7)を実施した。 ○北海道ミュージアム構想の中核施設となる北海道博物館や開拓の村などについて、今後も愛される施設となるよう、一体的な活用について推進を図るため、指定管理者との連絡調整会議(H28.4～)を月1回開催している。			C08201,C08202,C08204,C08305,C08404	
3(4)A	○利用者増に向けた展示建造物の改修等を行う「歴史文化施設におけるインバウンド交流施設整備事業」を北海道開拓の村で実施した(H29.4～)。			C08202,C08305	

(2) その他の取組の成果等					
国等提案・要望状況	<p>【縄文】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H28. 4月 国会議員連盟と4道県知事等により、早期の国内推薦決定について、文科大臣・文化庁長官へ要望 ・H28. 8月 平成29年度国の施策及び予算に関する提案・要望において、早期の国内推薦決定について要望(全庁要望・環生部要望) ・H28.11月 国会議員連盟、4道県議会、4道県知事等により、早期の国内推薦決定について、文科大臣・文化庁長官へ要望 ・H29. 4月 国会議員連盟と4道県知事等により、早期の国内推薦決定について、官房長官・文科大臣・文化庁長官へ要望 ・H29. 7月 平成30年度国の施策及び予算に関する提案・要望において、早期の国内推薦決定について要望(全庁要望・環生部要望) 	施策に関する道民ニーズ	<p>【ふるさとの歴史・文化(北海道博物館)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●北海道立総合博物館協議会(7名)における委員からの主な意見(H29.3) <ul style="list-style-type: none"> ・道民参加型組織の最終形態のイメージをはっきりさせて、計画的に事業を進めて欲しい。 ・広報は、記者会見やレクチャーを実施するなど、積極的・効果的な方法で取り組んで欲しい。 ・赤れんがサテライトのさらなる改善を望む。 ・博物館利用者のニーズを把握し、利便性を高めるためのオーディエンス・リサーチの実施が必要である。 ●道民ニーズの取組への反映状況 <ul style="list-style-type: none"> ・特別展「プレイボール 北海道と野球をめぐる物語」では、マスコミ関係者向けの「展示説明会」を開催し、広報の強化を図った。 ・赤れんがサテライトの一部更新を行い、特別展広報を強化するとともに、多言語展示解説アプリ「ポケット学芸員」を導入してサービスの向上を図った。 ・個人利用者だけではなく、学校団体のニーズを把握するための利用実態調査の実施を計画中。 		

平成29年度 基本評価調書

施策名	北海道独自の歴史・文化の発信と継承	施策コード	03 - 14
-----	-------------------	-------	---------

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)	Do & Check 施策評価
---------------------------------------	-----------------

2 連携の状況

(1) 施策間・部局間の連携

2-2 連携の取組状況

(1) 施策間・部局間の連携

政策体系	連携内容	連携先		取組の実績と成果
		施策コード	関係部・関係課	
3(4)A	世界遺産登録に向けた推薦書案作成、縄文文化に係るパネル・出土品の展示、縄文文化に係るセミナー・フォーラムの開催等や北海道立総合博物館の事業実施等に当たっては、必要に応じて教育庁文化財博物館課やアイヌ政策推進室と連携。	N0313	環境生活部アイヌ政策推進室	<ul style="list-style-type: none"> ・教育庁文化財博物館課と連携し、世界遺産登録に向けた推薦書案を作成するとともに、縄文文化に係るパネル、出土品の展示及び縄文文化に係るセミナーを開催(H28年度:7回、H29年度:5回の予定)した。 ・北海道立総合博物館協議会を開催し、アイヌ政策推進室と連携のもと、課題の共有と解決を図っている。 ・北海道博物館に北海道博物館協会事務局を置き、教育庁と協力しながら北海道の中核的博物館の役割を担う取組を進めている。
		N1110	教育庁生涯学習推進局文化財・博物館課	
-	北海道150年事業ワーキングチームに参画し、北海道の歴史・文化・芸術などに関する政策課題の対応を行うとともに(北海道150年事業として、「松浦武四郎」展の開催を計画)、関係部局と情報の共有を図る。	N0214	総合政策部政策局	<ul style="list-style-type: none"> ・総合政策部政策局に対して、松浦武四郎を北海道150年事業のキーパーソンとするにあたっての専門的知識の提供を行った。

(2) 地域・民間との連携・協働

2-2 (2) 地域・民間との連携・協働

連携内容	連携先	取組の実績と成果
縄文文化に係るパネル・出土品の展示及びセミナー・フォーラムの開催等	北海道・北東北の縄文遺群の登録をめざす道民会議 (略称:北の縄文道民会議) 北海道縄文のまち連絡会 札幌国際大学縄文世界遺産研究室	早期の世界遺産登録を目指し、有識者を招いたフォーラムやパネル展、セミナー等の啓発事業を連携して実施した。 ・フォーラム 3回(H28年度 2回、H29年度 1回※予定) ・パネル展 7回(H28年度 4回、H29年度 3回※予定) ・セミナー 12回(H28年度 7回、H29年度 5回※予定) ・啓発イベント 4回(H28年度 2回、H29年度 2回)
北海道博物館は、NPO法人北海道野球協議会や新聞社等と連携し、北海道における、スポーツ・娯楽としての野球の歩みをふりかえるとともに、北海道の歴史や産業、生活文化との関わり等を紹介する目的で、特別展「プレイボールー北海道と野球をめぐる物語」を開催する。	NPO法人北海道野球協議会 新聞社	NPO法人北海道野球協議会や新聞社等と連携し、道内初の「野球」をテーマにした大規模な企画展である、特別展「プレイボールー北海道と野球をめぐる物語」をH29年7月8日より開催した。 広報にあたっては、センチュリーロイヤルホテルでのPRパネル展の実施、特別展を題材にした期間限定ランチメニューの実施、イオン北海道や北海道銀行における店内のデジタルサイネージでPR動画の上映、日本ハムファイターズの札幌ドーム戦での来場者へのチラシ配布などの協力をいただいた。
北海道博物館は、札幌市厚別区・江別市に位置する博物館や水族館・図書館など10の文化施設で構成する「かるちやるnet」の中心館として、北海道の歴史や文化、自然、科学を楽しく体験できるイベントを協働で実施する。	札幌市厚別区・江別市の文化施設	札幌市厚別区・江別市に位置する博物館や水族館・図書館など10の文化施設で構成する「かるちやるnet」の中心館として、各館の広報ならびに普及事業等の活動における連携強化を図り、H29年7月から、ワークショップイベントや、「かるちやるnet」加盟館をめぐるスタンプラリーを実施し、博物館で実施している特別展等への集客を図った。
北海道博物館は、北海道の中核的博物館として、日本博物館協会、北海道博物館協会、全国歴史民俗系博物館協議会と連携し、道内各地の博物館活動を支援する。	日本博物館協会 北海道博物館協会 全国歴史民俗系博物館協議会	・北海道博物館に北海道博物館協会事務局を置き、道内各地の博物館と連携し、北海道の中核的博物館の役割を担う取組を進めている。 ・北海道博物館が日本博物館協会北海道支部長館ならびに全国歴史民俗系博物館協議会幹事館となり、全国的な博物館ネットワークにおける道内の窓口として、道内各地の博物館活動の支援を行っている。

平成29年度 基本評価調書

施策名	北海道独自の歴史・文化の発信と継承	施策コード	03 - 14
-----	-------------------	-------	---------

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1) | Do & Check 施策評価

3 成果指標の設定

3-2 成果指標の達成度合

主①	指標名	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	A	評価年度	H28	達成度合の分析 ほか
		基準年度	H25	年度	H29	最終年度	H37					
	北海道博物館の利用者満足度	基準値	65.8%	目標値	70.0%	最終目標値	80.0%	年度	H28	H29	進捗率	北海道の自然、歴史、文化を学ぶことができる展示構成やわかりやすい解説の導入、ハンズオンなど来館者を楽しませる工夫、「ジオパークへ行こう！」など企画展示の取組などに対して来館者から高い評価を受けている。北海道博物館の総合展示の運営や魅力的な企画展の実施などの活動に取り組んだ結果、事業効果が現れている。
	北海道博物館の利用者に対して行うオーディエンスリサーチ(利用者調査)で、施設全般に関して「満足」と回答した人の割合	根拠計画		政策体系	増減方向	達成率の算式		目標値	70.0%	70.0%	80.0%	
		北海道総合計画		3(4)A	増加	((実績値-基準値)÷(目標値-基準値))×100		実績値	78.6%	-	78.6%	
								達成率	304.8%	-	98.3%	

● 本施策に成果指標を設定できない理由

● 達成度合について					
達成度合	A	B	C	D	-
直近の成果指標の達成率	100%以上	90%以上 100%未満	80%以上 90%未満	80%未満	算定不可

平成29年度 基本評価調書

施策名	北海道独自の歴史・文化の発信と継承	施策コード	03 - 14
-----	-------------------	-------	---------

Do & Check 施策評価の一次評価結果(各部局等による評価)

5 一次評価結果

(1)成果指標の分析

政策体系	達成度合の集計					判定	成果指標の分析
	A 100%以上	B 90%以上 100%未満	C 80%以上 90%未満	D 80%未満	- 算定不可		
3(4)A	1					A・B指標のみ	<北海道博物館の利用者満足度【A】> 北海道の自然、歴史、文化を学ぶことができる展示構成やわかりやすい解説の導入、ハンズオンなど来館者を楽しませる工夫、さらに企画展示の取組などに対して来館者から高い評価を受けている。総合展示の運営や魅力的な企画展の実施などの諸活動に取り組んだ結果、効果が現れている。
						-	
						-	
						-	
						-	
						-	
計	1	0	0	0	0	A・B指標のみ	
	1						

(2)取組の分析

基準1 (施策の推進に当たり対応すべきもの)		対応している (○あり→対応している)	対応しているとする理由
1	計画した取組を着実に進め、かつ社会情勢や道民の要請等を踏まえた課題等に対応しているか	○	北海道独自の歴史・文化の発信と継承を図るため、北海道の縄文遺跡に係る情報発信や、北海道博物館を核とした本道固有の歴史や道内各地の様々な民俗芸能・生活文化などを継承・発信する取組を着実に推進している。
基準2～4 (施策の推進に当たり取組が認められる)		取組がある (○あり→取組がある)	取組があるとする理由
2	施策の推進に当たり、国等に要望・提案を行い、実現に向けて進捗しているか	○	「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録の早期実現に向けて、国等に要望を行っている。
3	道民からのニーズを的確に把握し、施策推進に役立っているか	○	北海道立総合博物館協議会で委員から意見を聴取するとともに、博物館の利用者に対して特別展や企画展の際にアンケート調査を実施し、満足度調査を実施して利用者のニーズの把握に努め、施策の推進に役立っている。
4	施策の推進に当たり、他の施策・部局との連携による成果を確認できるか	○	北海道150年事業としての「松浦武四郎」展に関連した取組などにおいて、関係する政策間・部局間で連携した成果を確認できる。
	施策の推進に当たり、地域・団体との連携・協働による成果を確認できるか	○	企画展の開催や普及事業の実施、博物館活動の支援など、政策の実現に向けた取組において地域や民間と連携・協働した成果を確認できる。
判定 (基準1が「○」で、かつ基準2～4のうち1つ以上に「○」がある→a、それ以外→b)			a

(3)総合評価

成果指標の分析	取組の分析	総合評価
判定(計)	判定	
A・B指標のみ	a	概ね順調に展開

(4) 対応方針(次年度に向けての課題と今後の方向性)

対応方針			(関連する計画等)		
対応方針 番号	政策体系	内 容	北海道創生 総合戦略	北海道強 靱化計画	新・北海道 ビジョン
①	3(4)A	「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録をめざし、4道県推進本部で新たにプロジェクトチームを設置し、推薦書素案の改定に取り組む。	A4212		C08101
②	3(4)A	北海道150年事業として予定している北海道博物館特別展「松浦武四郎」展及び関連事業の開催に向けて、関係部局、民間との連携を強化して広報活動や連携事業を検討し、効果的に実施する。			C08201、C08305
③	3(4)A	150年事業や象徴空間整備に向けた機運醸成等を図るため、アイヌ民族文化に関する情報発信機能を強化する情報システム(ウェブサイト)の改善などを検討し効果的に実施する。			C08201、C08305
④	3(4)A	北海道ミュージアム構想の推進に向けて、北海道立総合博物館の指定管理者との連絡調整会議で情報の共有を図り、北海道開拓の村、野幌森林公園自然ふれあい交流館の一体的な運営を継続するとともに、道民参加型組織の整備や地域博物館との連携強化を図る。			C08201、C08202
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					

平成29年度 基本評価調書

施策名	北海道独自の歴史・文化の発信と継承	施策コード	03	—	14
-----	-------------------	-------	----	---	----

Check 施策評価・事務事業評価

6 二次評価結果（知事による評価）

（1）施策評価

付 加 意 見	
---------	--

（2）事務事業評価

意見区分	整理番号	事務事業名	二次政策評価意見

平成29年度 基本評価調書

施策名	北海道独自の歴史・文化の発信と継承	施策コード	03 - 14
-----	-------------------	-------	---------

Action 施策・事務事業評価

7 施策評価結果の反映（各部局等が実施）

（1）一次評価結果への対応

対応方針 番号	対 応
①	<p><新たな取組等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・4道県推進本部で新たにプロジェクトチームを設置し、検討を重ね、推薦書素案の改定を進めた。 ・若年層・女性等を対象とした縄文文化の魅力発信冊子を新たに作成し、イベント等で配布するなど、幅広い世代に向けた情報発信に取り組んだ。 ・「北の縄文道民会議」等と連携したセミナーやパネル展を開催するとともに、企業と連携し、バーチャルリアリティ技術を活用したPRイベントを開催するなど、官民一体となった運動を展開し、世界遺産登録の早期実現を目指した取組を推進した。
②	<p><新たな取組等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度は、「北海道150年事業」の関連事業として、北海道博物館第4回特別展「幕末維新を生きた旅の巨人 松浦武四郎」（平成30年度）の開催に向けた館内プロジェクトチームを立ち上げ、資料借用先である松浦武四郎記念館等関係機関と連携して開催準備を進め、北海道立帯広美術館と三重県総合博物館と巡回展の事前協議等を進めた。また、総合政策部政策局北海道150年事業室と連携して、松浦武四郎に関連する取組に対する専門的知識の提供などを行うとともに、広報広聴課やマスコミ等と連携して広報番組や情報誌等での情報発信を積極的に行った。
③	<p><新たな取組等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度は、北海道博物館アイヌ民族文化研究センターのウェブサイトの整備方法の具体的検討を進め、平成30年度以降の実施を目指すこととした。 ・アイヌ文化紹介小冊子のPDFを当館ウェブサイト上で更新し、学習・研究のための情報発信を強化した。 ・北海道博物館の広報誌「森のちゃれんがニュース」に「アイヌ民族文化研究センターだより」のページを設け、巡回展や企画テーマ展などアイヌ民族文化に関する事業や収蔵資料、職員の調査研究に関する成果やその出版物等に関する情報を発信した。
④	<p><新たな取組等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「かるちやるnet」（文化施設連絡協議会〔構成：北海道博物館、北海道開拓の村、野幌森林公園自然公園ふれあい交流館ほか、野幌森林公園近隣の全10の文化施設〕）において、スタンプラリーや札幌市内商業スペースでの体験イベントを開催したほか、情報通信誌の発行を行い、博物館、開拓の村、自然ふれあい交流館の一体的な運営や近隣施設との連携を図った。 ・指定管理者との連絡調整会議の開催により、施設管理上の問題点の把握や対応方針の協議・検討、企画展や教育普及事業を円滑に実施した。 ・道民参加型組織の整備は、実施に向けた検討を行い、平成30年度からの実施を目指すこととした。 ・日本博物館協会の北海道支部として、北海道と全国の博物館をつなぐ代表館としての役割を果たすとともに、北海道博物館協会の事務局を担い、北海道博物館大会や研修会の開催、『道博協ニュース』の刊行、道内地域ブロック別や館種別の組織の活動の支援を行った。
⑤	
⑥	
⑦	
⑧	

（2）二次評価結果への対応

意見区分	所管部局の対応	意見区分	所管部局の対応

平成29年度 基本評価調書

施策名	北海道独自の歴史・文化の発信と継承	施策コード	03 — 14
-----	-------------------	-------	---------

Action 事務事業評価

8 事務事業評価結果の反映（各部局等が実施）

（1）一次評価結果への対応

区分	方向性	見直し検討	拡 充	現状維持	縮 小	統 合	廃 止	終 了	合 計	次年度新規事業 (予定)
評価結果		0 事業	1 事業	12 事業	0 事業	0 事業	0 事業	4 事業	17 事業	
反映結果		- 事業	1 事業	12 事業	0 事業	0 事業	0 事業	4 事業	17 事業	2 事業

整理番号	事務事業名	一次政策評価 結果(再掲)	H30年度の 方向性
1001	野幌森林公園施設整備費(施設建設事業費)	現状維持	現状維持
1002	野幌森林公園管理費	現状維持	現状維持
1003	野幌森林公園利用指導業務	現状維持	現状維持
1004	野幌森林公園許認可業務	現状維持	現状維持
1005	北海道博物館事業費(情報システム分除く)	現状維持	現状維持
1006	北海道博物館事業費(情報システム分)	現状維持	現状維持
1007	地域文化発信推進事業費	拡充	拡充
1008	北海道博物館試験研究費	現状維持	現状維持
1009	北海道博物館管理運営費	現状維持	現状維持
1010	開拓の村・百年記念塔施設整備費	現状維持	現状維持
1011	野幌森林公園施設整備費(長寿命化改修)	終了	終了

1012	歴史文化施設におけるインバウンド交流施設整備事業費	終了	終了
1013	インバウンド等観光交流基盤整備加速事業費	終了	終了
1014	オホーツク流水科学センター費(管理運営費)	現状維持	現状維持
1015	オホーツク流水科学センター費(施設建設事業費)	終了	終了
1016	オホーツク流水科学センター費	現状維持	現状維持
1017	世界遺産登録推進費	現状維持	現状維持